

医学部医学科 留学プログラム 情報共有シート

氏名 御厨 優一郎 学年（留学当時） 4年

派遣期間 2018年 3月 30日（金）～ 2018年 6月 27日（水）

留学先 サンフォードバーナムプレビス医学研究所

- 1 プログラム内容について
リサーチ・クラークシップでの留学○
クリニカル・クラークシップでの留学
その他

実施内容：

iPS細胞、ES細胞を利用する研究における培地環境の特性とその応用について

- 2 宿泊施設について
寮
ホームステイ○
ホテル

- ・広さ 約 約 15 m² 1人部屋
- ・費用 約 88000 円／（1か月間）

- 3 生活について

(1) 生活費（寮費を除く）

項目	金額	内訳
食費	約 2000 ドル	昼御飯、晩御飯、軽食等
学用品購入費	約 20 ドル	筆記用具等
交通費	約 200 ドル	MTS 利用料金、Amtrak 利用料金等
その他	約 1000 ドル	観光、交際費等
合計	約 3220 ドル	

(2) 治安状況・危険地域など

研究所付近の地域や滞在していた付近の地域は比較的安全であり、非常に住みやすい環境であった。しかし、ダウンタウンにはホームレスが多い印象であった。

(3) 一日のスケジュール(月～金)

6:00		9:00				12:00					17:00
起床	通学	ラボ	ラボ	ラボ	ラボ	ラボ	ラボ	ラボ	ラボ	ラボ	ラボ

18:00				22:00		24:00
自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	就寝		

(4) 休日の過ごし方

観光や、ホストファミリーや現地の友人と過ごした。

4 感想等

①留学を通じて感じたこと

研究室にはアメリカ人だけではなく自分以外にも様々な国籍の方が在籍しておりその中で共通言語である英語を介し共通の研究目的に向かって奮起するグローバルな環境は自分にとって大変モチベーションになりました。

多様な文化が混在する環境で様々な考え方を学ぶことで物事を様々な角度から考えやすくなり、具体的な何かというわけではないですが、自分自身の成長を感じました。

②今後、この経験をどのように活かすか

今回のリサーチクラークシップにおいて、海外での研究施設の環境や雰囲気を学んだとともに、勉強以外でも人とのつながりについても、多くのことを学びました。将来、臨床を行いつつ研究を並行して行い、国外の研究機関などと共同で行う際には今回の経験で得られた知識やコミュニケーション能力を活かせればと考えています。また、今回は研究という目的でアメリカに滞在し、多くを学びましたが、いずれまた臨床で国外の病院等に行く機会があれば是非また国外へ赴き思っており、その際には今回得た知識や経験を基盤に、より一層ハイレベルなことを学びたいと考えています。

③後輩へのアドバイス

一度日本から出てアメリカの雰囲気を感じるということは、学内の研究室では決して得られないものを経験できると思います。それは、実績や研究結果といった形になるものだけではなく、様々な考え方の経験やコミュニケーション能力、強いては自分自身の医師になるべき人としての成長も含まれます。行く前の具体的な準備といえばコミュニケーションに必須である英語力をつけることぐらいですが、それよりも大事なのは現地で研究内外含め、様々なことにチャレンジすることだと思います。また、可能であれば事前に pipette の扱い方などの実験用具の使い方の基礎は予習していったほうが良いと思います。